

■婆ちゃんのしかめ面■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 387 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

387 目次

- 1. トピックス：建築営業を手伝う【アメテクト】の紹介
- 2. ブログより：婆ちゃんのしかめ面
- 3. 今週のお誘い+今後の予定
- 4. 地主の学校・販売中
- 5. アクセスポイント：問い合わせ先
- 6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：建築営業を手伝う【アメテクト】の紹介

すでに建築が飽和して、空き家が増えるばかりですが、建築の仕事がなくなるわけではありません。

僕の周りでは、空き家を再生する不動産屋や、内装工事も手掛ける建築家など、様々な業態が生まれています。そこで今日は、「建築営業の仕事」に特化することで「施工者」を応援する角間君を、皆さんにご紹介します。

.

■角間君がやっていること【不動産建設業のサポートサービス】

忙しい不動産屋、工務店さんをサポートするために、調査、積算、見積作成代行のサービスを運営しています。

[https://www.ametect.jp/cloud\\_architect/](https://www.ametect.jp/cloud_architect/)

急な調査や図面がないときの見解書作成などに大変好評で、このサービスだけで年 200 件程度はご依頼いただいています。

■繋がれると嬉しい方【施工会社の方々】

上記のサービス展開をおこなうことで、クライアントの受注率が向上しています。

その影響から、施工会社の方へお仕事をお渡しできる状況になっています。

- ・足場
- ・大工
- ・塗装
- ・板金
- ・電気

これらの業種に特に需要があります。

動いていただける方ご紹介いただければありがたいです。

監理（皿かん）は弊社で対応できるので、

職人さんの負担も少ない案件が多いかなと手前味噌ながら思う次第です。

※施工現場の発生範囲は都内、神奈川、千葉が多いです。

.

今、建設・不動産業界では、新規開発と建設を繰り返す時代が終わりつつあります。

でも一方では、社会の画一化や均質化に見切りをつけ、地域文化の独自性や環境への適応性を求める個別の細

かいニーズが高まりつつあります。

新たなニーズと余剰なシーズをつなぐ新たなサービスに取り組む友人「角間君」を、僕は応援します。

.....

## 2. ブログより：婆ちゃんのしかめ面

エリザベスお婆ちゃんが亡くなった。

そう、もちろん先日崩御なさったエリザベス 2 世（エリザベスにせい、Elizabeth the Second、1926 年 4 月 21 日 - 2022 年 9 月 8 日）のこと。

イギリスのウィンザー朝第 4 代女王（在位: 1952 年 2 月 6 日 - 2022 年 9 月 8 日）として、即位から崩御するまで、イギリスの他 14 か国の英連邦王国及び王室属領・海外領土の君主、またイングランド国教会の首長であった。

ある意味で、世界に衝撃をもたらしたこのニュースに接した時、僕の心に浮かんだのは「お婆ちゃん」という言葉だった。

間違いなく世界を代表する高貴なお方に対し、なぜ僕は「エリザベスお婆ちゃん」などと馴れ馴れしい表現を用いるのか、今日はそんな話をしてみたい。

・

初めに僕の思いをもう少し丁寧に説明しよう。

「お婆ちゃん」とはもちろん老婆を意味するが、ここではむしろ「祖母」を意味している。

もちろん僕は、英国人でもなければ、英国王室のメンバーでもない。

だが、エリザベス女王に対する感情の多くが、自分の祖母に対する孫の感情に近いものだと僕は感じる。

少なくとも僕が臣下として使える主君では無いし、僕を客として招いてくれる女将では無い。

他国の君主はたくさん知っているが、こうした親しみを覚える方は思い当たらないし、ましてや僕を客としてもてなしてくれる王族など思い当たらない。

主従関係でもなく、主客関係でもない君主に対し、感じる親しみとは何なのか。

それは、同じ何かに所属するという広義の「家族」に他ならない。

もちろん僕の片思いだが、僕はエリザベス女王を頂く大きな家族の一員だからこそ、「お婆ちゃん」という言葉が浮かぶ「孫的な自分」を感じている。

・

それではなぜ、こんな話をしたいと思ったのか。

それは、この思いが僕一人で無く多くの人たちからも感じられるから。

日本にある英国大使館前に花を手向ける人々の感覚は、僕とあまり変わらないのではないだろうか。

英国全土で弔意を示す人々だって、決して女王の家臣でもなければ客でもない。

サッカーのスター選手だったデビッド・ベッカム氏が、女王のひつぎが公開されているロンドン市内のウエストミンスター・ホールへと続く一般弔問の列に、喪服姿で並んでいるのが目撃された。

空いてると思って深夜 2 時に来たのに、すでに老若男女の長蛇の列があったが、同じ思いの人たちと食べたり飲んだり話したりと、12 時間以上も共にできたことを喜んでいたという。

かつて勲章を授与された感謝の気持ちは特別かも知れないが、誰もがお婆ちゃんに対して持つ「褒めてくれた喜び」と「お別れの悲しみ」は共通なのかもしれない。

・

すでに統治権は持たないが、長年にわたって王室外交を展開し、英国に身を捧げたと称賛される。

賞賛という言葉にするなら、確かにそうなるのかもしれない。

だが、世界に広がる弔意の思いは、この賞賛に基づくものではないと思う。

戦争、ダイアナ妃、コロナ、そしてヘンリー王子など、様々な問題は有るものの、一言で言えば「愛すべきお婆ちゃんだった」ことこそが、世界の大勢を動かしている。

多数の支持を得ることで評価される政治家でなく、多額の収益を得ることで評価される実業家でなく、一心に家族の幸福を願うお婆ちゃんだからこそ、誰もが王室について、まるで家族のこのように賛否を論じ合うのではないだろうか。

・

僕が「地主の学校」を着想した時、初めに浮かんだイメージがエリザベスお婆ちゃんのしかめ面だった。

これはもちろん、女王が世界有数の大地主であることに起因する。

だが、僕は決して王様になりたい訳じゃない。

むしろ、しかめ面になったお婆ちゃんの顔にこそ、家族の課題に心を痛める「地主の本性」が見えてくる。

ここで言う「家族」とは、土地や家を共有し、継承していく仲間を指す。

残念ながら今の世界は、平和を愛し、誰とでも親しくし続けることをできていない。

エリザベスお婆ちゃんの死は、このことを僕たちに突き付けている。

いま世界が求めているのは、政治でも経済でもなく、「婆ちゃんの笑顔」ではないだろうか。

<https://nanoni.co.jp/20220917/>

.....

### 3. 今週+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：一般参加不可、下記以外はすべて応相談

#### ■今週の予定

(火) 09/20 なのに (自宅) 作業日

(水) 09/21 なのに (自宅) 作業日

会議×：10-12時 　いづみ会計 MTG (反町)

会議○：20-21時 　八島花文化財団理事会 (zoom)

(木) 09/22 なのに (各所) 作業日

会議○：14-15時 　一宮庵クラブ運営会議 (成城)

会議◎：17-19時 　笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)

(金) 09/23 なのに (自宅) 作業日

(土) 09/24 なのに (世田谷) 作業日

交流◎：09-15時 　よろず相談会 (笑恵館)

(日) 09/25 いづみ (横浜) 作業日

交流◎：09-17時 　いづみ PJT オープンデイ (反町)

交流◎：12-14時 　いづみ PJT 説明会 (反町)

(月) 09/26 なのに (自宅) 休業日

会議○：22-23時 　八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

#### ■定例の予定

- 月曜・第2,4 22-23時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)
- 火曜・第1 08-09時 ×AR子ども書籍 MTG (zoom)
- 第2,4 20-21時 ○LR定例営会議 (zoom)
- 水曜・第1 10-12時 ○OforW経営運営会議 (zoom)
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこ PJT (zoom)
- 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
- 18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
- 20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
- 第4 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 金曜・第1 08-09時 ○地主の学校ゼミ (zoom)
- 土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会 (笑恵館)
- 第2 12-14時 ×RYUSEN PJT (zoom)
- 日曜・毎週 09-17時 ◎いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
- 第1 10-11時 ×100smile 会議 (zoom)
- 第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

- 10/11 講義× : 14-17時 早稲田大学出張講座 (笑恵館)
- 10/15 交流○ : 17-20時 八島花文化財団お披露目会 (京島)
- 11/14 交流× : 17-20時 K君 MTG (日本橋)
- 11/22-24 出張× : 堺・有田・冷水視察 (大阪・和歌山)
- 12/01-06 旅行× : 結婚40周年 (モルディブ)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール [takuya@nanoni.co.jp](mailto:takuya@nanoni.co.jp)

携帯 090-9830-3669

自宅：株式会社なのに (取締役・平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場：一般社団法人日本土地資源協会（代表理事）

<http://land-resource.org/>

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体：

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL（事務局長）

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所（事務局長）

<https://localrepublic.jp/>

.....

## 6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>